

# 総務委員会 報告資料

令和 8 年 1 月 2 0 日

報告事項件名	頁
1 会議の公開及び会議録の作成等に関する基準について・・・・・・・・・・	2
2 足立区政に関する世論調査結果（速報）について・・・・・・・・・・	5
3 綾瀬エリアのコミュニティ創出に向けた S D G s 事業について・・・・・・・・	1 6
4 竹の塚エリアのコミュニティ創出に向けた取組状況について・・・・・・・・	1 9

（ 政策経営部 ）

# 総務委員会報告資料

令和8年1月20日

件 名	会議の公開及び会議録の作成等に関する基準について						
所管部課名	政策経営部 政策経営課						
内 容	<p>区が開催する会議の公開及び会議録作成等に関する基準を整理したので、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 目的</b></p> <p>会議の公開や会議録作成等に関する基準を定めることで、行政運営の透明性向上を図るとともに、情報共有の正確性や業務の継続性を確保する。</p> <p><b>2 会議の公開・会議録の作成基準（別紙1参照）</b></p> <p>（1）附属機関及び区職員以外の構成員を含む会議体等の会議は原則公開（ただし、足立区審議会等の設置及び運営に関する指針に定める非公開事由に該当する場合を除く。）とし、会議録は全文筆記とする。</p> <p>（2）区職員のみで構成する会議体等の会議は、会議ごとに公開・非公開を判断し、会議録は要点筆記や会議要旨の作成でも可とする。</p> <p><b>3 音声データの取扱い</b></p> <p>会議録作成のための音声データの取扱いについては、会議録が正式な記録となるため、次のとおり規定・指針を改正し、会議録作成後は音声データを破棄することができることとする。</p> <p>（1）足立区文書管理規程上に、「特に軽易な文書＝1年保存未満」に関する規定を設ける。</p> <p>（2）足立区会議録の作成に関する指針上に、音声データは「特に軽易な文書＝1年保存未満」として取り扱う旨を規定する。</p> <p>（3）下記に該当する場合は、音声データを一定期間保管する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議体の種類</th><th>保管期間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「公金の支出や財産の取得・管理・処分、契約の締結・履行、債務その他の義務の負担」を決定する会議体等の会議</td><td>会議があった翌年度の末日まで（住民監査請求の請求期間については保管）</td></tr> <tr> <td>訴訟（現に審査請求、住民監査請求が提起されているなど、訴訟に発展する可能性が高い場合を含む。）等の対象となっている内容を取り扱った会議体等の会議</td><td>その終結まで</td></tr> </tbody> </table>	会議体の種類	保管期間	「公金の支出や財産の取得・管理・処分、契約の締結・履行、債務その他の義務の負担」を決定する会議体等の会議	会議があった翌年度の末日まで（住民監査請求の請求期間については保管）	訴訟（現に審査請求、住民監査請求が提起されているなど、訴訟に発展する可能性が高い場合を含む。）等の対象となっている内容を取り扱った会議体等の会議	その終結まで
会議体の種類	保管期間						
「公金の支出や財産の取得・管理・処分、契約の締結・履行、債務その他の義務の負担」を決定する会議体等の会議	会議があった翌年度の末日まで（住民監査請求の請求期間については保管）						
訴訟（現に審査請求、住民監査請求が提起されているなど、訴訟に発展する可能性が高い場合を含む。）等の対象となっている内容を取り扱った会議体等の会議	その終結まで						

	<p><b>4 適用予定日</b> 令和8年4月1日</p> <p><b>5 今後の方針</b> 運用状況を確認し、発生した課題があれば、必要に応じてルールを見直していく。</p>
--	--

## ■ ルール

- 1 会議の公開・非公開、会議録作成のレベルは下表のとおり。
- 2 会議録の作成にあたっては、会議の種類や重要度に応じて適切な方法を選択する。  
選択にあたっては、下表を原則とし、あらかじめ会議に諮り、又は会議の長と協議のうえ、決定する。
- 3 会議録の内容について、出席者の承認を経たうえで、会議の長又はあらかじめ指名する出席者の確認を得る。ただし、会議において別段の承認方法等を定めたときは、その定めによる。
- 4 上記にかかわらず、区職員のみでの会議において、会議の長が出席者の承認手続が必要でないと認めたときは、承認手続を省略することができる。

### (会議体の種類及び取扱い)

対象となる会議の種類	会議	例	会議録	
	公開・非公開		作成方法	公開・非公開
附属機関の会議	公開（原則）	都市計画審議会	会議録（全文筆記）	公開
	非公開 （※1の非公開事由に該当）	あだち子どもの未来 応援基金審査会		非公開（※2）
規則、要綱等により設置された会議体その他の 機関であり、 <u>区職員以外の構成員を含む会議</u>	公開（原則）	孤立ゼロプロジェクト 推進連絡会	会議録（全文筆記）	公開
	非公開 （※1の非公開事由に該当）	特別養護老人ホーム 入所検討委員会		非公開（※2）
規則、要綱等により設置された会議体その他の 機関であり、 <u>区職員のみが構成員となる会議</u>	会議体の性質を踏ま え、会議ごとに定める	熱中症対策調整会議	会議録（要点筆記）、会議要 旨を明らかにする書面又は会 議録（全文筆記）	会議体の性質を踏ま え、会議ごとに定める

※1 当該会議の内容に次の各号のいずれかに該当する情報が含まれる場合を除き、公開するものとする（足立区審議会等の設置及び運営に関する指針）。

### ■ 会議の非公開事由

- 1 個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の情報により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と照合することにより、特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）又は特定の個人を識別することはできないが、公にすることにより、なお個人の権利利益を害するおそれがあるもの
- 2 法人その他の団体に関する情報又は事業を営む個人の当該事業に関する情報であって、公にすることにより、当該法人等又は当該個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるもの
- 3 区の機関、国等が行う事務又は事業に関する情報であって、公にすることにより、当該事務又は当該事業の性質上、当該事務又は当該事業の適正な遂行に支障をきたすおそれがあるもの
- 4 法令の規定又は当区が従う義務を有する国等の機関の指示により、公にすることができないと認められる情報
- 5 その他審議会等において、公にすることが不適当と認める情報

※2 情報開示請求で開示できる範囲については、議案の審議に必要な範囲で資料とすることができる。

# 総務委員会報告資料

令和8年1月20日

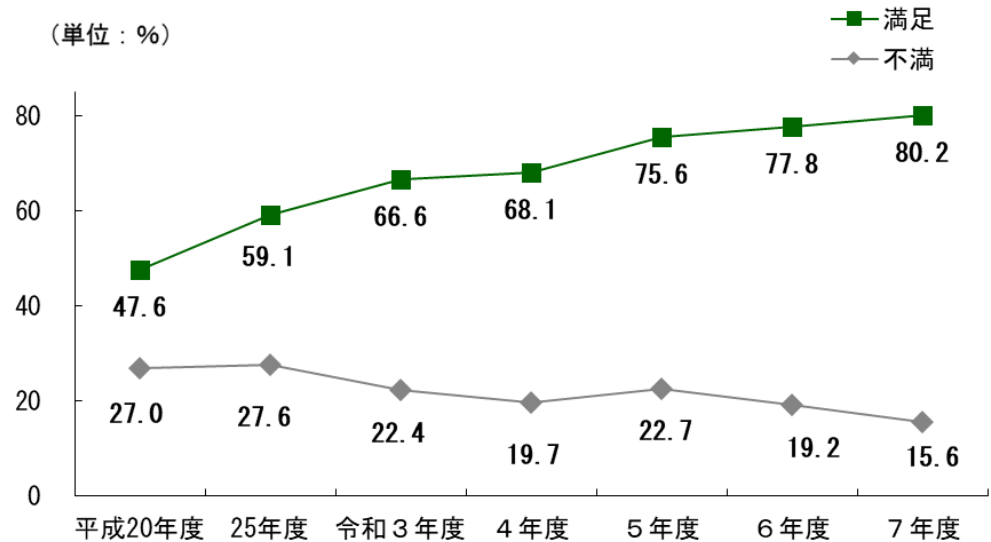
件名	足立区政に関する世論調査結果（速報）について												
所管部課名	政策経営部 区政情報課												
内容	<p>令和7年8月に実施した足立区政に関する世論調査について、集計結果の速報値を報告する。</p> <p><b>1 調査概要</b></p> <p>(1) 調査期間 令和7年8月12日～9月5日</p> <p>(2) 調査方法 郵送配布、郵送またはインターネットによる回答</p> <p>(3) 調査対象者 無作為抽出した18歳以上の区民3,000人</p> <p>(4) 回収数 1,375件</p> <p>ア 郵送による回答 918件</p> <p>イ インターネットによる回答 457件</p> <p style="text-align: center;"><b>回収率(5年間の推移)</b></p> <p>(単位：％)</p> <table border="1"> <caption>回収率(5年間の推移) (単位：％)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回収率(％)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>57.0</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>51.0</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>51.8</td> </tr> <tr> <td>6年度</td> <td>47.4</td> </tr> <tr> <td>7年度</td> <td>45.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 調査項目 定住性／災害対策／洪水対策／情報発信のあり方／健康／スポーツ・読書／ビューティフル・ウィンドウズ運動／環境・地域活動／孤立ゼロプロジェクト／「SDGs」・「協働・協創」／区取り組み</p> <p>※ 詳細は、別添資料単純集計表のとおり</p>	年度	回収率(％)	令和3年度	57.0	4年度	51.0	5年度	51.8	6年度	47.4	7年度	45.8
年度	回収率(％)												
令和3年度	57.0												
4年度	51.0												
5年度	51.8												
6年度	47.4												
7年度	45.8												

## 2 主な調査結果

### (1) 区政満足度【問 48】

区政全体について「満足」していると回答した人は、前年度に比べ、2.4 ポイント増加した。

区政に対する満足度(経年の推移)

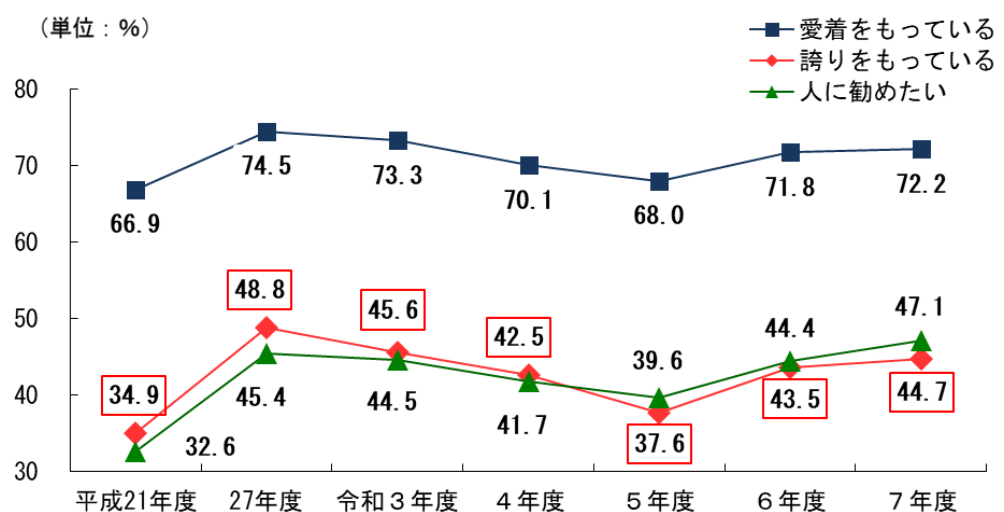


### (2) 区に対する気持ちなど【問 44】

ア 区に「愛着をもっている」、「誇りをもっている」、区を「人に勧めたい」

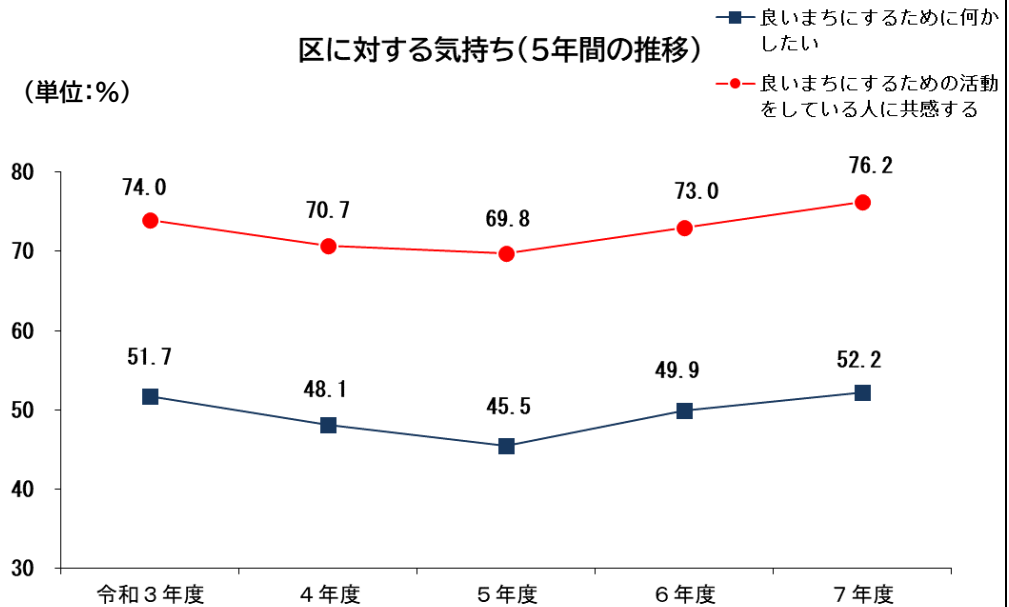
前年度に比べ、いずれの項目も増加した。

区に対する気持ち(経年の推移)



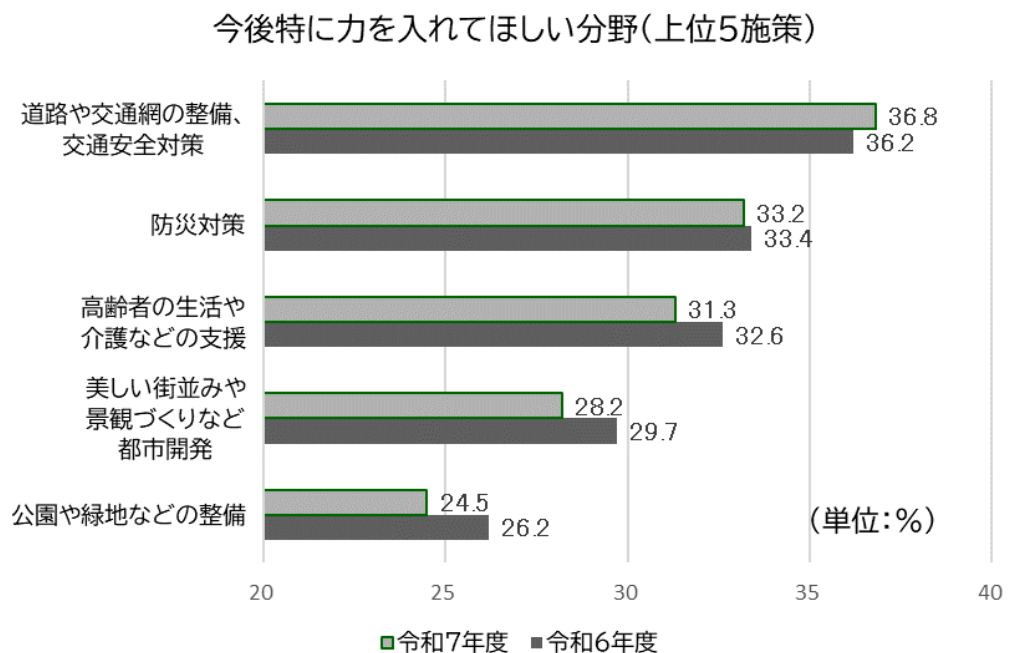
イ 良いまちにするために

前年度に比べ、「良いまちにするために何かしたい」「良いまちにするための活動をしている人に共感する」のいずれの項目も増加した。



### (3) 今後特に力を入れてほしい区取り組み【問 49】 上位5項目

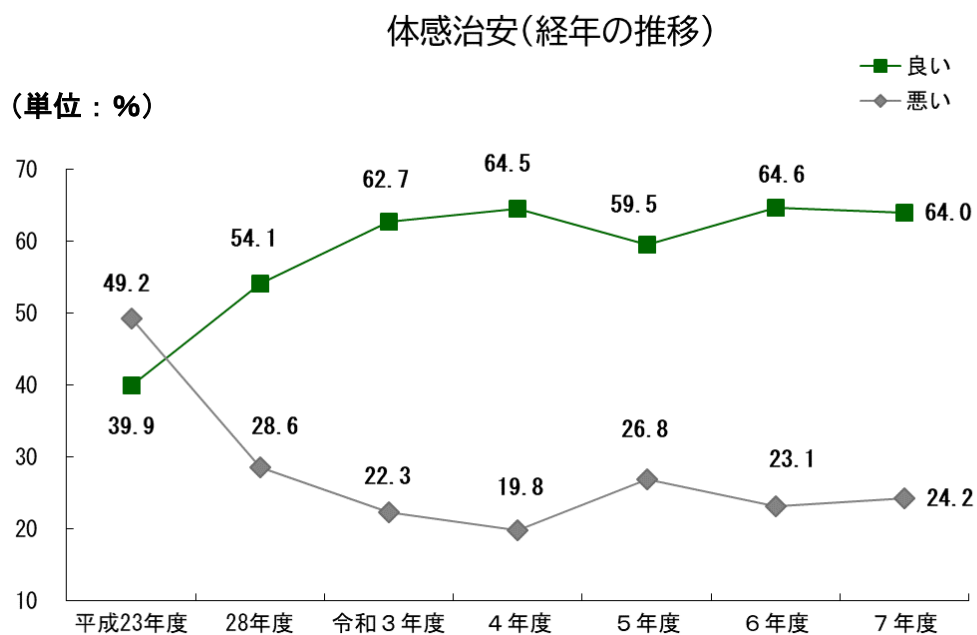
今後特に力を入れてほしいと思う上位5施策は、「道路や交通網の整備、交通安全対策」「防災対策」「高齢者の生活や介護などの支援」「美しい街並みや景観づくりなど都市開発」「公園や緑地などの整備」であり、昨年度と順位は変わりなかった。



#### (4) ビューティフル・ウィンドウズ運動

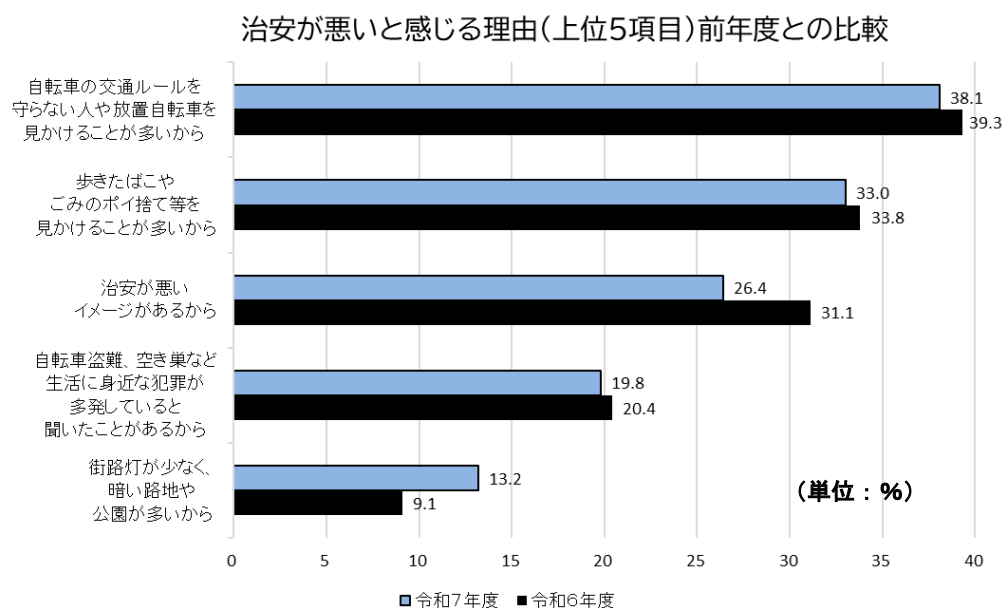
ア 区の治安について【問 26】

「治安が良い」は、前年度に比べ 0.6 ポイント減少した。



イ 治安が悪いと感じる理由について【問 26-2】

上位 4 項目の順位は昨年度と変わらなかったが、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」は、昨年の 7 位から 5 位に上がった。



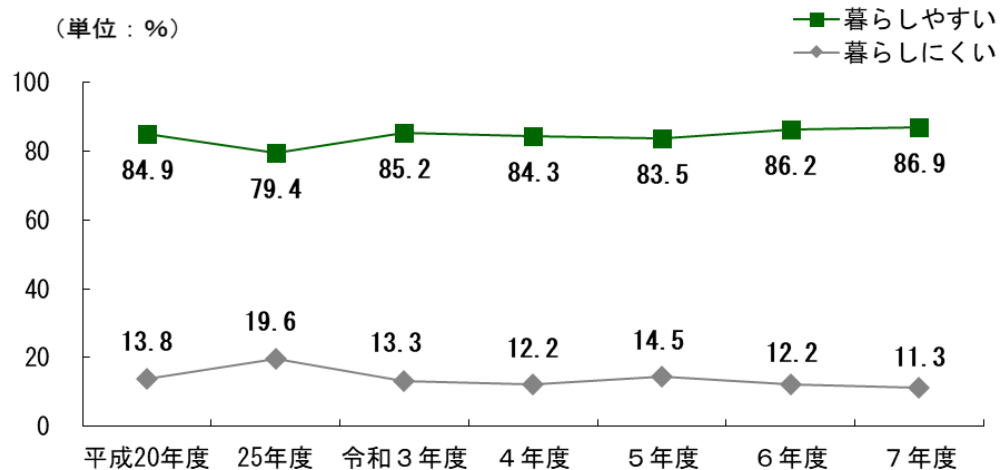


## (5) 定住性

### ア 住んでいる地域の暮らしやすさ【問2】

「暮らしやすい」は、前年度に比べ0.7ポイント増加した。

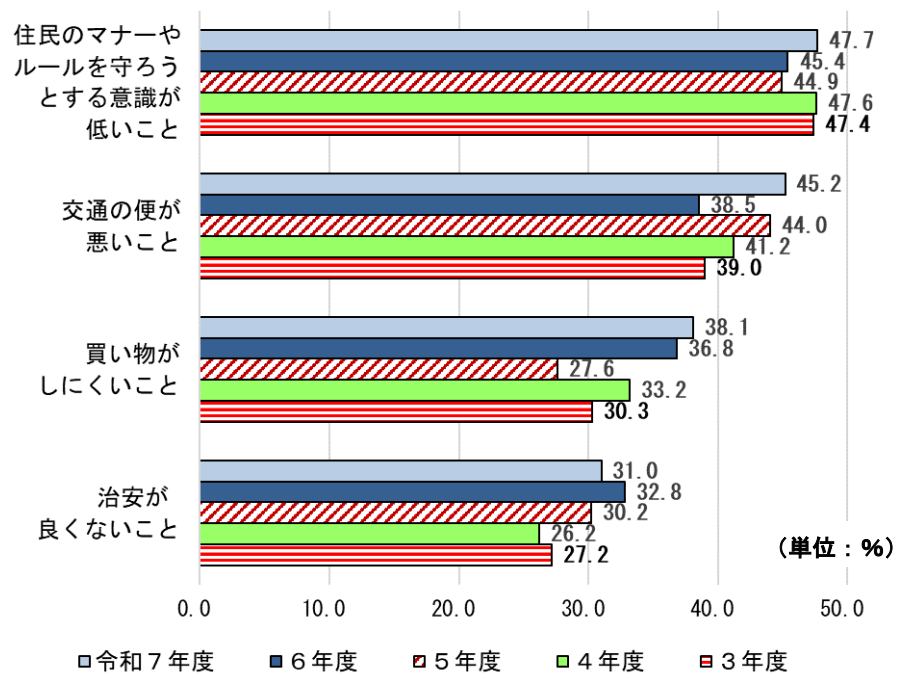
地域の暮らしやすさ(経年の推移)



### イ 特に暮らしにくいと感じること【問2-1】 上位4項目

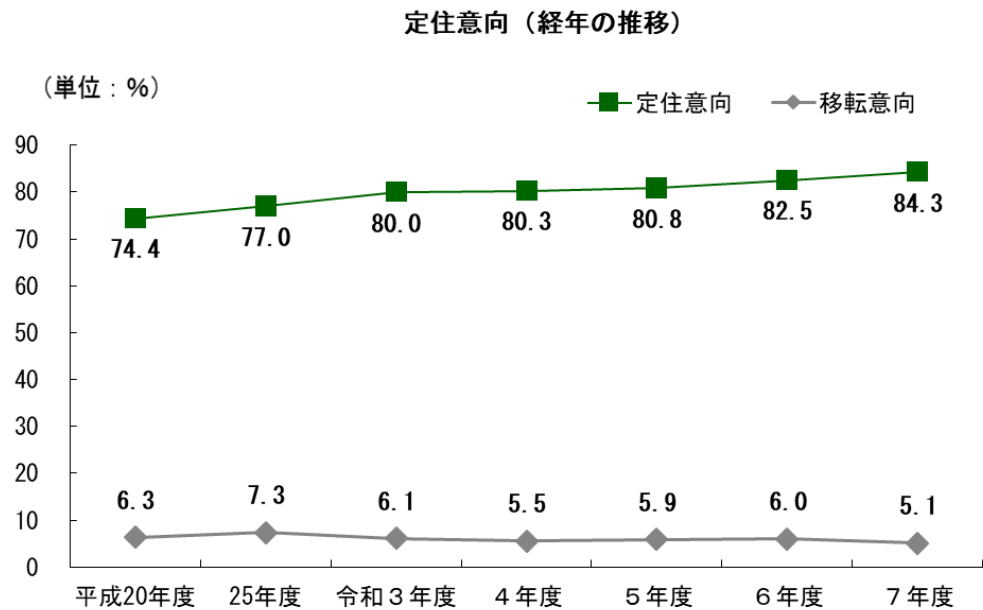
「暮らしにくい」と答えた方が特に暮らしにくいと感じることは、前年度と同様に「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」、「交通の便が悪いこと」、「買い物がしにくいこと」、「治安が良くないこと」が上位となった。

暮らしにくいと感じること(5年間の推移)上位4項目



### ウ 定住意向【問3】

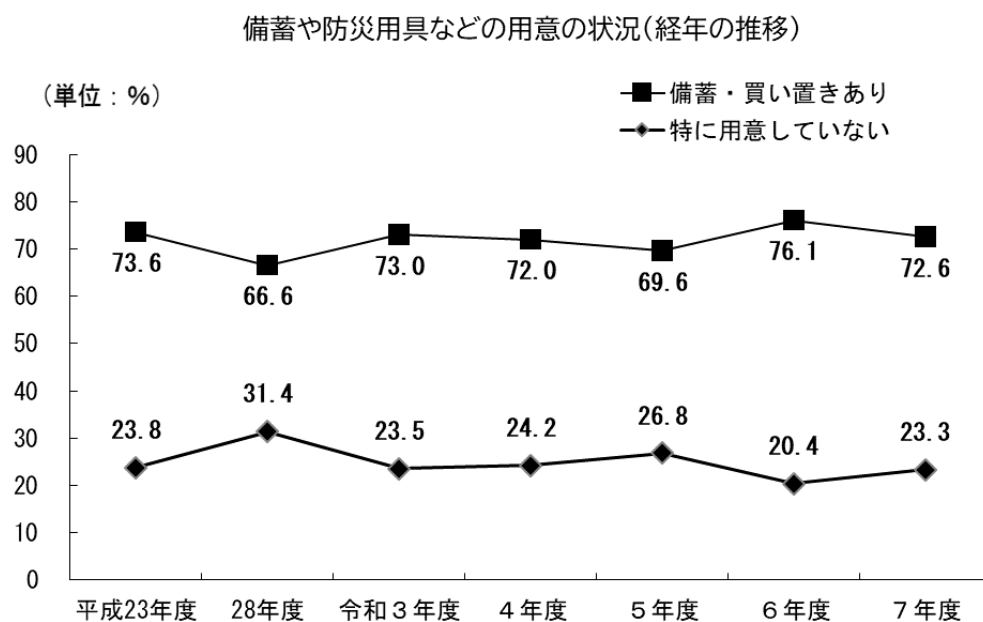
「定住意向」は、前年度に比べて1.8ポイント増加し、5年連続で最高値を更新した。



### （6）大震災などの災害への備え

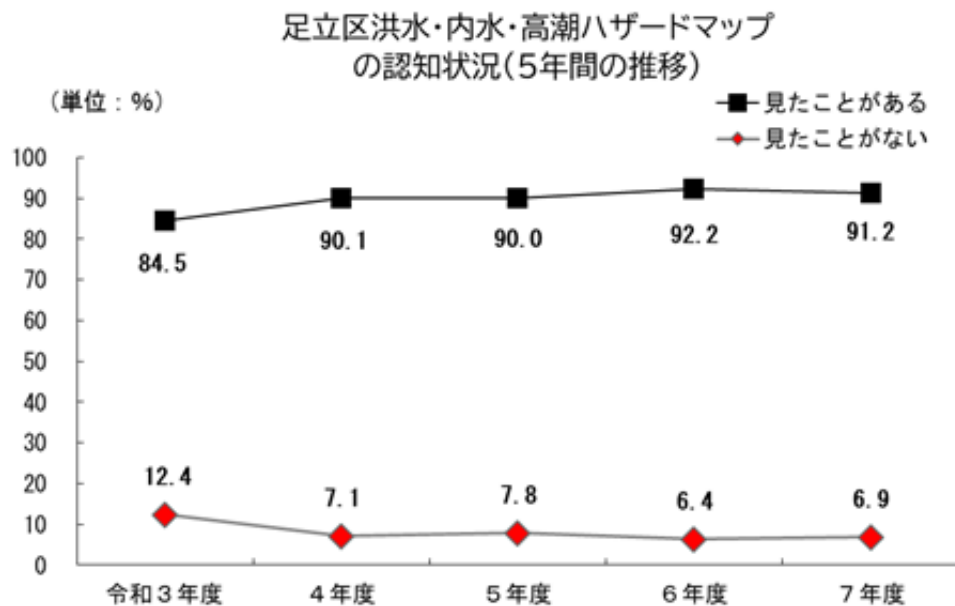
備蓄や防災用具などの用意【問4】

「備蓄・買い置きあり」は、前年度に比べ3.5ポイント減少した。



## (7) 洪水対策

足立区洪水・内水・高潮ハザードマップの認知状況【問7】  
「見たことがある」は、前年度より1.0ポイント減少した。

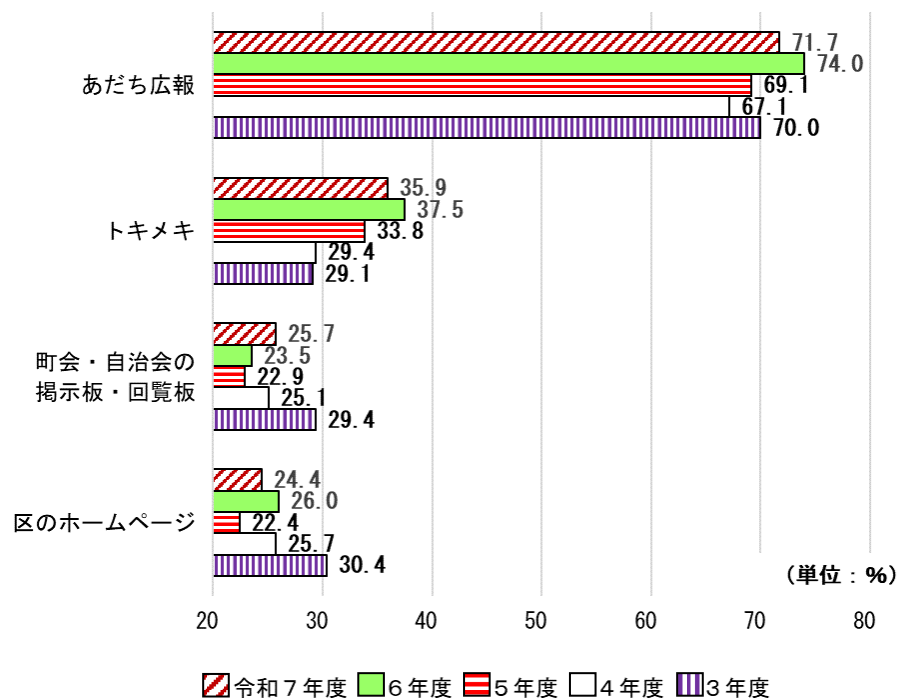


## (8) 情報発信のあり方

ア 区の情報の入手手段【問9】 上位4項目

区の情報の入手手段としては、前年度同様に、「あだち広報」が最も高い。

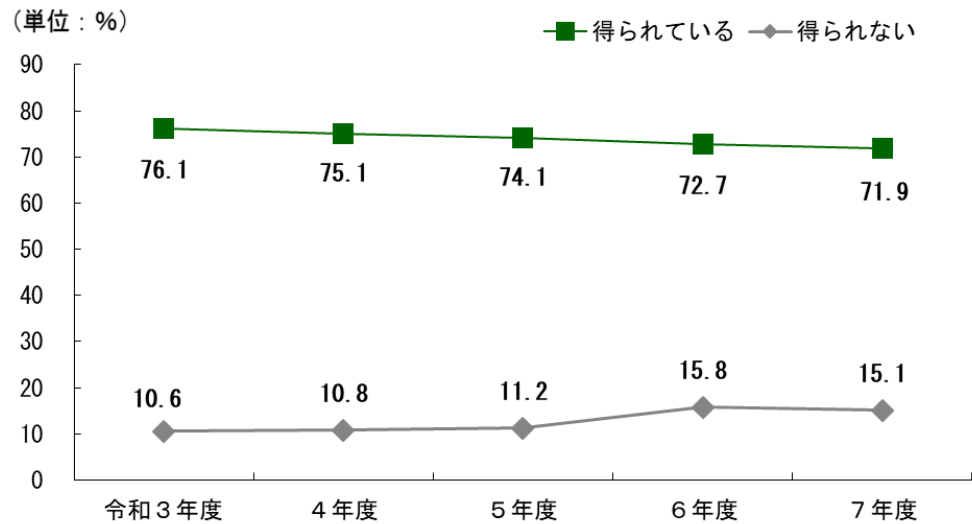
区の情報の入手手段(経年の推移)上位4項目



イ 必要なときに必要とする区の情報の入手状況【問 10】

必要とする区の情報が「得られている」は、前年度に比べ、0.8ポイント減少した。

区の情報の入手状況

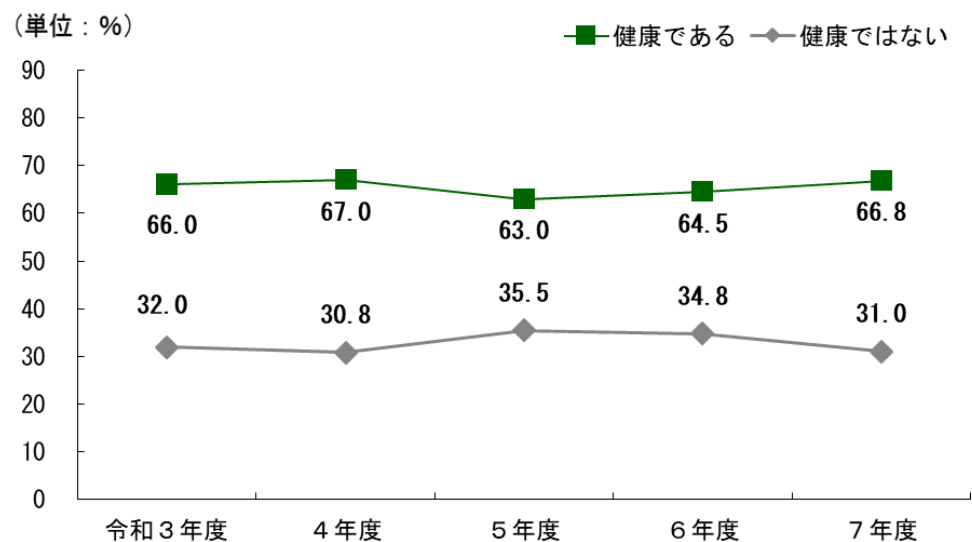


(9) 健康

自身の健康状態について【問 14】

自分のことを「健康であると感じている」は、前年度に比べ 2.3ポイント増加した。

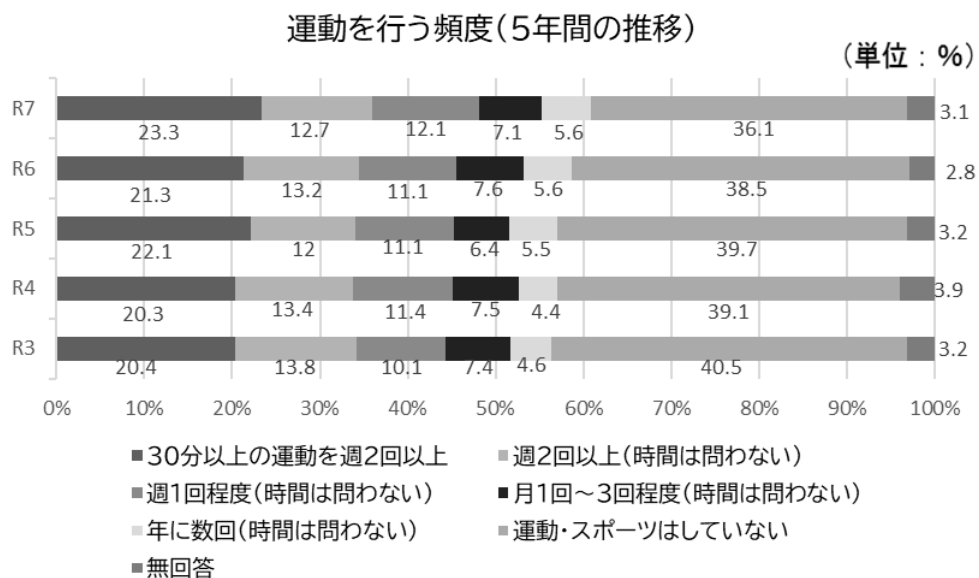
自身の健康状態について(5年間の推移)



## (10) スポーツ・読書

運動を行う頻度【問 22】 5 年間の推移

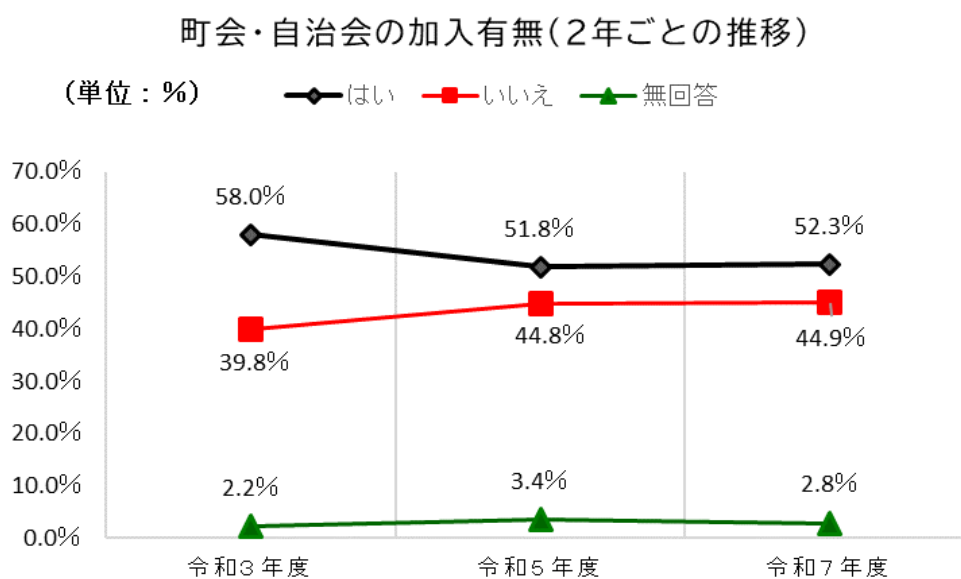
定期的に運動を行う人の割合は約 6 割であり、ここ 5 年間で大きな変動はなかった。



## (11) 地域・環境

町会・自治会の加入有無【問 30】

町会・自治会に加入している人の割合は令和 5 年度からわずかに増加し 52.3%であった。



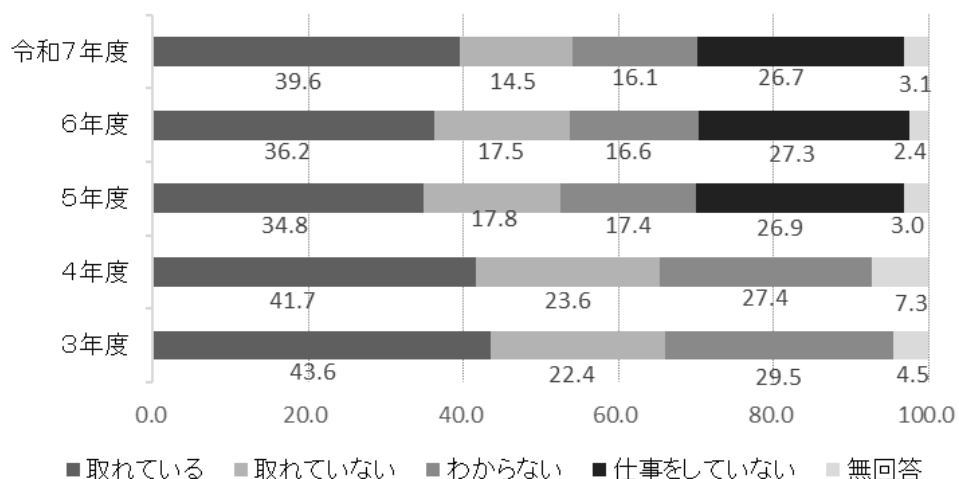
## (12) 孤立ゼロプロジェクト等

ワークライフバランス【問 38】

仕事と仕事以外の生活の調和が取れていると回答した人の割合は 39.6%で、令和 6 年度から 3.4 ポイント増加した。

ワークライフバランス(5年間の推移)

(単位：%)



※「仕事をしていない」は令和 5 年度から回答に追加された

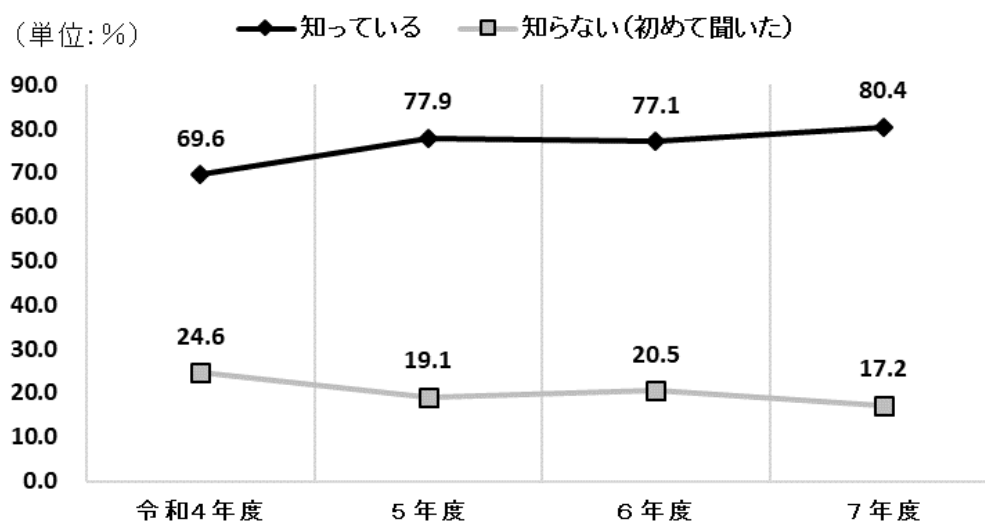
## (13) 「協働・協創」・「SDGs」

SDGs の認知状況【問 41】

「SDGs」について「知っている」は、前年度に比べて 3.3 ポイント増加した。

SDGSの認知(4年間の推移)

(単位：%)



	<p><b>3 今後の方針</b></p> <p>(1) 集計結果の分析と課題の抽出を行い、今後の施策や計画づくりに調査結果を反映させていく。</p> <p>(2) 令和8年3月末までに調査結果を報告書にまとめる。</p>
--	---

# 総務委員会報告資料

令和8年1月20日

件名	綾瀬エリアのコミュニティ創出に向けたSDGs事業について
所管部課名	あだち未来創造室 SDGs・協創推進課
内容	<p>区がSDGs未来都市として実施しているSDGsモデル事業の進捗状況を以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 「ぐるぐる博 in 来た！アヤセ 2025」の開催結果</b></p> <p>(1) 実施概要</p> <p>ア 日時／天候 令和7年11月29日（土）10時～15時／晴天</p> <p>イ 場所 区立しょうぶ沼公園</p> <p>ウ 来場者数 約7,000人</p> <p>エ 客層 比較的若い方が多く、綾瀬開催よりも、子ども連れや子どもたちだけでの来場が多かった。</p> <p>(2) 今年度の特徴</p> <p>ア どのお店も出店者と来場者で会話が弾んでおり、新しいつながりができたとの声をいただいた。来場者からは、「次は自分も出店してみたい」との声もあった。</p> <p>イ キッチンカーや出店店舗で購入した食品を、公園内でシートを敷いて食べている方や休憩する方も多く、1組あたりの滞在時間が長かった。</p> <p>ウ ぐるぐる博の各出店者が積極的にSNSで拡散してくれたり、チラシをポスティングするなど、自分たちでイベントを盛り上げていただいた。</p> <p>エ 前日設営中に、公園で遊んでいる東加平小学校の児童がリーフレットの配布を手伝ってくれた。また、前日に大型の看板を設置したことにより、立ち止まって見る方が多くいた。</p> <p>(3) 出店者の感想（一部抜粋）</p> <p>ア 右も左もわからず出店したのですが、このイベントのおかげで出店の流れなどもわかり、何よりこれからやっていく自信にもなりました。</p> <p>イ お隣の出店者さんと話すことができ、今度コラボイベントをしよう、という話になって、横のつながりのきっかけになりました。</p>



ウ 次はどんな展開になるのか？そうワクワクできる区のイベントはないので、本当にこれからも楽しみです。

エ 当日は天気が良く乾燥気味で、人の往来がとても多かったため、出店場所によっては、砂埃がかなり舞っている状況でした。

#### (4) 会場の様子



#### (参考) 周知方法例

ア 小中学校全校へC4thを活用

イ 区立保育園・私立保育園へコードモン（アプリ）を活用

ウ 東京メトロ（綾瀬・北綾瀬）・ららテラス北綾瀬

エ 区LINE・区SNS・駅スタンド ほか

## 2 「アヤセ未来会議 2025」の開催結果

今期は9月13日（土）～11月29日（土）の期間で、全7回のワークショップを開催した。2チームに分かれ、企画を作り上げてぐるぐる博出店を目指した。参加者はぐるぐる博への出店やワークショップを通じて、新しい仲間や知り合いができ、地域と関わりながら活動する最初の一步を踏み出した。

### (1) 「ぐるぐる博 in 来た！アヤセ 2025」の出店内容

チーム名	出店内容
ぐるりんのどん ぐりポップ	AI キャラクターとのおしゃべり・どんぐりプ ール・ポップコーン
わくわくじ	千本くじ

(2) 未来会議メンバーの感想（一部抜粋）

ア アヤセ未来会議を通して、人と協力して成し遂げられることの  
凄さを心の底から味わうことができました。また、イベントを実現  
することは、本当に楽しいなと強く思いました。

イ あっという間の 3 か月間でした。初めて地域活動に取り組みま  
したが、今回の経験がその第一歩となり、色々と自信が持てました。

**3 「ぐるぐるKIOSK（※）」の開催結果**

※ KIOSK とは小さな売店や小規模マルシェのこと。

(1) 実施概要

ア 日時

令和 7 年 11 月 23 日（日）13 時～16 時／晴天

※ デフリンピック大会期間中の歓迎イベントと同時開催。

イ 来場者数 515 人

(2) 出店者の感想（一部抜粋）

ア 普段あやセンターで活動しているが、屋外でやると違う層（家族  
連れ）が来てくれて新鮮だった。

イ 継続していくことで、「ぐるぐるKIOSK」の認知度があがる  
と思うので、今後も関わっていきたい。

(3) 会場の様子



**4 今後の方針**

各取組をより多くの方に知っていただけるよう、区からの発信だけで  
なく、出店者自らの発信を促していく。

# 総務委員会報告資料

令和8年1月20日

件名	竹の塚エリアのコミュニティ創出に向けた取組状況について
所管部課名	あだち未来創造室 SDGs・協創推進課
内容	<p>竹ノ塚駅高架下公共利用用地において、トレーラーハウスを活用した「やってみたい」の活動拠点づくりを検討しているため、進捗状況を以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 スケジュール（予定）</b></p> <p>※ 2月からのアスファルト舗装工事の進捗により変更の可能性あり</p> <p>3月中旬 トレーラー設置・デッキ工事・昇降機設置</p> <p>3月22日（日） ぐるぐる博 in 竹の塚（一般公開）</p> <p>4月 1日（水） 施設利用予約受付開始（予定）</p> <p>4月第3週 オープン（～7月トライアル期間）</p> <p>※ 現在、利用規約を整備中であり、改めて報告する。</p> <p><b>2 「ぐるぐる博 in 竹の塚」の開催</b></p> <p>（1）日時 令和8年3月22日（日）10時～16時</p> <p>（2）場所 たけのつカー&amp;パーク</p> <p>（3）目的</p> <p>「たけのつカー&amp;パーク」がこういった場所なのか、これから目指していくもの、この場所でできることを実際に見て、触れて、感じてもらう。</p> <p>（4）出店数 20店舗</p> <p>ヒアリングに協力してくれた方や、竹の塚周辺のターゲット層（10代～30代）を中心に、運営側で選定する。今後も拠点を有効活用していただけた方と関係を作る機会とする。</p> <p>（5）その他</p> <p>本イベントの駐輪場として、旧保健センター跡地を活用する。</p> <p><b>3 今後の方針</b></p> <p>（1）地域への個別ヒアリングを継続し、ニーズの掘り起こしや、拠点に関する意見交換を行う。</p> <p>（2）今後も進捗状況を適宜報告のうえ、地域と連携しながら着実に推進していく。</p>